



よこと館だより



Est. 1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

理事長閑話 埋め草 ⑤9

～パンデミック 世界的流行病の歴史～

この原稿を載せたお便りが発行される時には新型肺炎コロナウイルスの蔓延が収まっている事を念じながら、世界的流行病（パンデミック）について調べてみました。皆さん北欧ノールウエーにいるネズミ「レミング」の話をご存じですか。仲間の数が激増すると食料が足らず集団で移動し、崖から多くのレミングが落ちて死に個体は激減しながら種は残るといふ厳しい話です。悲しい話です。

人類の歴史の中でも感染症により人口が激減したという歴史があります。14 世紀蒙古軍により運ばれたと言われる黒死病（ペスト）は当時のヨーロッパの人口約 1 億人の 1/3、約 3,000 万人が死亡したと言われます。続いて 16 世紀、白人が新大陸に伝播させた天然痘により南北アメリカの先住民の 9/10 が死んだと言われ、アステカやインカ文明がその結果滅んだと言われます。17 世紀にはペストが再燃し、そしてコレラは 19 世紀から現在まで 7 回の世界的流行があり、今日でも毎年 130 万～400 万人が発症し多い時には 10 万人以上の死者が出ています。トーマス・マン原作の映画「ベニスに死す」は当時の疫病「コレラ」で美少年に恋をした主人公が死ぬところで終わります。

近年における酷いパンデミックは第一次大戦（1918～19）時のスペイン風邪（インフル A 型）でした。ヨーロッパ中心に 5 千万人から 1 億人が死亡したと言われます。日本においても患者数 2,300 万人、死者 38 万人といわれています。因みにスペイン風邪の発生元はアメリカの軍隊、兵隊がヨーロッパ各地に転戦しウイルスを拡散したと言われています。

近年ではエイズ、SARS、エボラ、鳥・豚インフルエンザ、またお馴染みのノロウイルス等感染症の発症が枚挙にいとまありません。しかし現代では追って予防ワクチン、治療薬が開発され、人々に免疫が出来、それぞれのウイルスも常在となって人類と共存していくかに見えます。パンデミックには世界的な人的交流が背景にあります。今言われるグローバル化の負の側面です。

そして歴史が語らせます。カミュの不条理小説「ペスト」は 1947（昭和 22）年に発表されました。北アフリカのある都市でペストが蔓延しロックダウンされた町で献身的に働く医師リウーは新聞記者に言います。「今度のことはヒロイズムなどではない、誠実さの問題なのです」「ペストと戦う唯一の方法は誠実さという事なのです」「僕の場合誠実さとはつまり自分の職務を果たすことだと心得ています」と。

今、献身的に治療に当たる医療関係者の誠意に感謝すると同時に、いつ私たちもその最前線に立たされるかもしれないことを覚悟しておかなければなりません。「至誠学舎」に集う者として。

理事長 橋本正明

事業本部長メッセージ

新型コロナの拡大が止まらない。アメリカの第七艦隊や自衛隊の中東での任務にまで支障が出たなどと聞くと、リーマンショックのように金融を舞台にした経済領域のものとは全く次元の異なる事態なのだと思います。ところで、昨日から明け方まで降り続いた大雨は、明治からの気象観測史上始まって以来、東京での 4 月における降水量 100 ミリ以上を記録したそう。そのおかげで、季節外れに雪化粧した富士山と丹沢の神々しさに目を細めながら、異常な気象と世界的な疫病という二つが心をかき乱す。「アルマゲドン」が頭をよぎる。「いやいや、流石にそれは大げさだな」と昇る朝日とほくそ笑む。この記事が読者の目に留まるころ、緊急事態宣言の行方に一定の方向と明るい兆しが差すことを祈るばかりである。

4 月 14 日 朝（快晴）

高齡事業本部長 旭 博之

事業本部情報

🌸 児童事業本部 🌸

思いもかけぬ未知のウイルスの出現に、世界中が混乱しています。尊い命を護るための戦いに使命感で挑んでいる医療従事者や感染対策の専門家、行政関係者、そして市井の人々の姿が連日メディアから流れてきます。人間の叡智と他者への思いやりが問われている現実を子ども達にしっかり伝えていきたいです。この新型コロナウイルス感染拡大予防のため、学校が休校になって1ヶ月半、更に緊急事態宣言で外出も制限されました。子ども達にとって、学校生活で最も大事な節目の卒業式や入学式も縮小・中止を余儀なくされ、また、新学年を迎える準備や友人との交遊も制限。いつ終息するかも分からない状況に子どもも大人も不安な日々を送っています。そんな制限された環境の中でも子ども達は、学校から解放されたせいでしょうか、徐々にそれぞれが楽しみを見つけ、落ち着いた生活を過ごしてくれています。

大人も子ども達とゆっくり関われる時間ができ、遊びや勉強、食事の時間を工夫し、個々の子どもとゆっくり話す時間を楽しんでくれています。世の中が休業、在宅勤務で感染リスクの少ない生活にある中、不安を抱えながら黙々と自分達の仕事に臨んでくれている職員には本当に感謝です。終息までには長期化しそうな状況が分かってきた今、理事長からの「正しく恐れよ」を遵守しながら、自分達ができること、やらねばならないことを日々、実践し、ピンチをチャンスに変えていけることがないかを考えていきたいと思えます。
(至誠大空の家 施設長 国分 美希)

🌸 保育事業本部 🌸

新年度も始まり、新たな気持ちで園児をお迎えしようと準備を進めてきましたが、新型コロナウイルスの影響は日に日に増すばかりで入園式も断念せざるを得なくなってしまいました。新入園児には「入園おめでとう！ようこそ、待っていましたよ」という気持ちと在園児には「進級おめでとう」の思いを伝えるにはどうしたら良いかと考えました。そして園内全体を「花」や「ちょうちょ」で装飾し、いつもより華やかに工夫、各お部屋ごとに「入園進級おめでとうの日」として新しいお友達を紹介し、進級した新しい色のバッチを一人一人に差し上げることができました。

新型コロナウイルスの影響で今年度は従来の行事のすすめ方とは違う工夫が必要になってきています。そのような中、渋谷区は4/10より臨時休園と決まり、早い決定で保護者も驚いた様子でもありました。園でも職員体制等どうするか等本部長に相談しながら見切り発車状況でしたが、しっかり整理を行って参ります。休園中はお子様の様子やご家庭の様子を伺いながら、長いお休み明けの子ども達をしっかりと受け止める準備を進めています。

(代々木至誠こども園 稲永 裕子)

🌸 高齢事業本部至誠ホーム 🌸

新年度を迎えて心新たに目標を掲げ、頑張ろう！と書きたかったのですが、一転それどころではなくなってしまいました。4月7日(火)の「非常事態宣言」を受け、さらなる外出自粛が続き、この状態がいつまで続くのかとため息と得体のしれない不安の中にいます。

レストランスオミ(至誠ホームスオミのオープンレストラン)でも外部の方の利用を当面お断りしております。また、至誠ホームスオミでは「3つの密」を避けるために全てのセミナー、自主活動等の中止、居室を出るときはマスク着用、レストランでの食事後は速やかにお部屋に帰る等の取り組みをしています。居住者の皆さんもよく理解・協力していただいています。職員と共に感染者を出すわけにはいかないという意識を強く持ち続けていきます。

それにしても1日でも早くワクチン、薬が開発されることを祈りつつ、いつもの普通の暮らしに戻りたいものです。いかに「普通」が大切か、ありがたいことかと改めて考えさせられているこの頃です。今はとにかく感染しないように一人一人が予防をしっかりしていくしかありませんね。

(至誠ホームスオミ 園長 井上 富士子)

本部事務局だより

新型コロナウイルスが世界経済に与える影響は計り知れない。世界的流行はまだ拡大しており、今後は発展途上国への深刻な蔓延が懸念される。中国や欧米での蔓延はやがてピークオフするだろうが、第2波第3波と余波は続くだろう。米国の研究機関では2022年まで続くところもある。中国と米国との関係、イギリスとEUとの関係もパンデミック前後ではパラダイムシフト(価値観の激変)する可能性が高い。中国の「一帯一路構想」や米国の「アメリカファースト」は、「とん挫」するかもしれない。EUは高き理想主義から内輪もめで機能不全に陥りイギリスのブレグジットは再評価されるかもしれない。この状況を投資家目線で見れば、千載一遇のチャンス、一生に一度有るか無いかの大相場になるかもしれない。世界が悲観的で相場が下がれば買い進む好機、下がり続ける相場は無いし、登らない陽はないのである。今こそ仕込み時、2年後に景気が回復するまで辛抱だ。と思えば辛抱もワクワクに変わる。ただし、コロナで死んでではシャレにならない。

(法人事務局長 野島 忠幸)

(編集後記)今、お家でラジオ体操を行っている人も多いようです。運動不足解消にも、オススメです。<小>